

第18回 焼津市自治基本条例を考える市民会議・記録

平成25年 3月 3日 (日) 13:00～16:00

(焼津市役所 603会議室)

1. はじめに

○開会あいさつ、前回の振り返り、今回の進め方

事務局：今日は、今月末の「市民会議素案」のまとめに向け、2/26の作業グループ会議で作成した「素案」について検討する。今日、皆さんから意見をいただき、3/12の作業グループ会議で反映し、3/17の市民会議では松下先生にもご参加いただき、「市民会議素案」をまとめ上げたい。4月以降は、第二期PIで「素案」について市民と対話したい。

○今後のスケジュールと成果目標

今井：今日の一番大事なことは、みんなで「素案」を読み合わせ、なるべくたくさんの意見を出すこと。さらに、その意見を受けて検討した「素案(案)」について次回検討し、「市民会議素案」という形にまとめたい。

- ・「市民会議素案」は、これまで検討を重ねてこられた皆さんの成果としての意味と、PI等で市民の皆さんから意見をいただいて、こういう形にまとまりました、という2つの意味があると思う。一つでも多くキラリと光るところのあるような、他の市民に見せた時に良い議論の材料となるような「市民会議素案」としたい。

2. 「市民会議素案」の読み合わせ

(1) 全体で読み合わせ

(事務局により音読、全体で「素案」を読み合わせ)

○まとめ作業を通して気づいた点について

事務局：「市民」については、通勤・通学者も含めた広い定義にしているが、内容により通勤・通学者を含めない項目があるかどうか、チェックしていただきたい。

- ・「地域コミュニティ」について、まだ内容が足りないようにも思えるので、具体的な仕組みや取り組みにつながるような内容がもっと書かれるとよいのではないかと。
- ・「危機管理」を新たに項目として出したが、その是非や内容も含めてご検討いただきたい。

(2) フリータイム

(「素案」について各グループで意見交換)

3. 「市民会議 素案」を磨き上げるために、一人ひとりの思いと考えを寄せ合う

(各自、「素案」についての意見をポストイットに書き、壁面の模造紙の該当する項目の近くに貼る)

4. 意見の概要を共有し、特に意見の多い項目などからまとめの方向性を確認

(「素案」についてポストイットに書かれた意見を確認)

→ (別紙)『第18回 焼津市自治基本条例を考える市民会議・「市民会議 素案」への意見』

今井：最初に問題提起がいくつか事務局からあったが、それに関してはどうか。

事務局：「地域コミュニティ」について具体的な意見が出ていないので、明日以降の追加でもよいので、具体的な仕組みに関する意見などをいただければと思う。

今井：作業グループ委員の方々から今日の感想などを。

委員：焼津市らしい、ということがあったが、今後、「前文」に織りこむ可能性があると考えて良いのか。

→今井：今の案にはないが、最終的には「前文」を置くことになるだろう。現段階では、「前文」というよりは第二期PIの冒頭にこの「素案」をどう説明するかということを整理する必要があると思う。その内容の一部は、「前文」に反映されることになるのではないかと。

委員：「危機管理」について具体的に案が入ると、身近な問題として個人が考えることや自治会の中での動きなど、どこまでこの条例で書けるのかが難しいと感じている。

委員：今日、多様な意見が出て良かったと思う。案の検討でPIでいただいた意見をどのように文言にしていくかということが非常に大切だと常々感じている。今日、帰ってから改めて「素案」をじっくり読み返したいと思うのは、市民、議会、行政の視点がそれぞれの項目に活かされるかということ。

委員：「危機管理」については条例とは別に計画があるという認識である。

今井：3/12の作業グループ会議、3/17の第19回市民会議に向けて、今日の欠席者への対応も含めて、しっかりと進めていきましょう。

5. おわりに

事務局：考えていることを非常に文章化することは難しいとつくづく思う。行政、市政運営のところに意見が少ないのは自分としては反省点。総合計画や行政評価の活動をしっかりと行政として説明できていないということなのだろう。総合計画がまだ浸透していないということだと思う。公共施設の問題等も含め、市民の評価も反映していかなければと考えている。「総合計画は必要か」というご意見もあったが、今後どうするかを議論していただくことは大変ありがたい。問題を指摘するだけでなく、その次を示すことはまさに産みの苦しみが、今しばらく皆さんと一緒に考えていきたいので、よろしくをお願いします。

事務局：(事務連絡・閉会)